

## 第3回草加市みんなでまちづくり会議議事録

### 1 開催日時

平成17年10月28日(金)午後7時～9時

### 2 開催場所

草加市中央公民館 第1・2講座室

### 3 出席者の氏名

- (1) 登録員 14名
- (2) 進行 総合政策部副部長
- (3) 事務局 みんなでまちづくり課長、みんなでまちづくり課職員3名
- (4) 関係者 建設副部長兼建設管理課長、建設管理課長補佐、河川課長、河川課長補佐、道路課長、道路課長補佐、住宅都市計画課長、みどり公園課長補佐

### 4 会議の議題

「ふれあい通り親水緑道計画」の提案について  
(提案者：瀬崎まちづくり市民会議)

### 5 公開・非公開の別

公開

### 6 傍聴者

8人

### 7 会議の概要

#### (1) 開会

- ・ 今回の会議録署名員の指定については、登録番号6の宮本節子登録員と、登録番号11の草加市を明るく元気にするあいさつ運動の会・代表猪又泰二郎登録員にお願いしたい。

#### 事務局

- ・ 会議は、登録員による提案の説明、及び提案に対する登録員の話し合いを行う場であり、何かを決定する場ではない。
- ・ 提案内容が草加市のまちづくりとしてどうか、地域にプラスであっても全市的に見た時はどうか、等の視点からまちづくりに携わる登録員の意見を伺う場と考えている。
- ・ 市は、会議の円滑な進行のため、必要な情報の提供、法的な点などについては説明を行う。

(2) 議題説明

提案者：瀬崎まちづくり市民会議・会長 田村 秀雄

説明者：ふれあい通り親水緑道推進委員会・会長 山崎 尉行

- ・ 説明

(3) 登録員による話し合い

登録員

- ・ 瀬崎小中学校の通学路となっていたとあるが、使われていたならばふさがることではなかったのでは？
- ・ 水路の所有者は誰か？

提案者

- ・ 自分達が小中学校の頃は、子ども達はみんな通っていた。
- ・ 現在の区画整理地内は、昔田んぼだった。区画整理されて、住宅地になり、用水の利用率がなくなり、だんだん人が歩かなくなった。
- ・ 現状の敷地はすべて官地である。
- ・ 今回は、水路と言うより、そんなに広いものを造るのではなく、どちらかと言うと遊歩道を一番広くとりたい。
- ・ 現状はあまり使われていなく、周辺からも蚊が湧いて困っている。今回の提案には、PTAやふれあい広場でもアンケートも実施しているが、みんないい提案だといってくれた。

登録員

- ・ 瀬崎のまちづくりの人たちは情熱を持っている。瀬崎地区のパワーには感動する。

登録員

- ・ ここ10数年で、環境に対するものの考え方が、戦前戦後くらいの変わり様があった。
- ・ 昔は、自然を切り崩して、コミュニティ道路だといって威張って造っていた。
- ・ ドイツが先進国だが、「臭いものに蓋」式のやり方が見直されている。カルバートで暗渠化したものは見直されている。
- ・ 環境デザインの手法は、元々の歴史・文化などの状況、地元のパワーを活かし、新たなストーリーを描くことが求められている。
- ・ 水路を発見し、そこにカルバートを埋め、それに蓋をかけて上に新たに人工的な二重構造とするよりも、今の川床を再生し使うほうがよい。
- ・ まずは、見せること。そして水を浄化する。そういうことが非常に意義のあることではないか？
- ・ 草加市には汚い川がたくさんある。将来は、それらの川もきれいにしなければ

ならない。そこは、絶対暗渠には出来ない。カルバートでは流せない。

- ・ こういう小さなところは水を浄化し、今の状況を復元していきながら整備した方がいい。そこに意義があると思う。
- ・ 水を流すとランニングコストも動力もかかる。そういうランニングコストを次の世代に引き継ぐことになってしまう。
- ・ 我々が汚くしてしまったものを、見つけて見せて、それをきれいにする。そういう事にパワーを出す、そういうまちづくりの手法もあると感じる。
- ・ これは作ることよりも非常に難しい。
- ・ ドイツでは、そのことにお金がかかっている。でも次の世代には担わずに、我々の世代で反省し、良くして残そうとしている。

#### 提案者

- ・ 足立区入谷の近くに、両サイドに道路がある。そういう場所ならその考えもありだと思ふ。当然その方がいいと思ふ。
- ・ 草加の全体の水位を考えると、開渠にしてしまうのは、今の段階では難しい。
- ・ ここは以前、道路みたいな形だったので、できれば遊歩道にしたい。
- ・ スペース的な事で、カルバートについても勾配についても行政と設計の段階で検討していかなければならない。
- ・ 中根町を見てきたが、水路は水路らしく用壁をコンクリートで作り、周りを緑化して緑道を取っていた。
- ・ アンケートにはすべて道路に、という意見もあったが、多くの人は、遊歩道・緑地帯・親水もあるという意見が多く出ていたのでこのような提案になった。もう少し広がったら、別の提案ができたと思ふ。

#### 登録員

- ・ 逆流してしまうと大変なので、人工的な制御は当然必要と思ふ。
- ・ ただ、原風景が見えなくなってそこに人工的なものができるのはもったいない。
- ・ まちづくりは人も資源である。その場所が持っている資源、たとえば、そこで地下水が湧いているみたいなことがあれば、新たな物語が描けそうな気がする。
- ・ 日照の問題もあって、光が当たらないと水はきれいに見えないし、植物や水生昆虫も光がないとだめ。今後の課題はあると思ふ。

#### 登録員

- ・ この提案はランニングコストがすごくかかると思ふ。誰が負担するのか？一番心配な事。
- ・ 避難の問題とか、通学路の問題が書いてあるが、図の下の方を開発の人に提供してもらえないのか？そちらを通った方が学校には近いのでは？
- ・ 過去に小学校で、これに似ている水路を造ったことがある。ただし、循環ポンプが壊れると死に水になるなど、管理が大変である。

- ・ 水道だと月27万で魚が住めないと書いてあるが、何のためにやるのかわからない。この提案には、どんな水を使うのか書いてない。

#### 提案者

- ・ 近隣には地下水がある。貯留槽千立方メートルがあるが、その水を使うのは現状では難しいとの回答。
- ・ マンションの管理組合ができて、そこの了承が得られれば、非常にいいが、葉が必要等の問題もある。

#### 登録員

- ・ 消火栓も書いていない。15cmの深さの水では消火に使えない。
- ・ 努力には敬服する。本当に出来たらいいなと思う。
- ・ 管理には、別組織を作るとあるが、瀬崎まちづくり市民会議ではまずいのか？

#### 提案者

- ・ 新規マンションや近隣マンション住民など、現地に近い人で会を立ち上げた方がいいのでは、と思っている。
- ・ もちろん、委員会に入っていた人たちも入る。

#### 登録員

- ・ 我々は、役所の土地を地域で管理することを予定している。少ない人数より大きな団体でやろうとしている。
- ・ この提案が、完成することを期待している。

#### 登録員

- ・ 自分自身は、緑と今の自然に合わせた環境づくりをしようと、努力して保存しようとしている。保存は非常に大変なこと。
- ・ この案を見た時はいいものができていると感じたが、暗渠にしてその上に作るとは気がつかなかった。既存のままで絵ができているのかと思った。
- ・ 草加の水の問題を考えると、どこで妥協して行けばいいのか悩んでいる。

#### 登録員

- ・ 自分の近くに、こういうのができることを想像したら、四季の草花が咲いたり、鳥が飛んできたり、今あるものを活かして、あまり人工的に開発せずに、自然に残してもらえたら、と思う。
- ・ これができたら後に、照明、チカン、ひたくり等の安全対策の面でも気をつけて欲しい。
- ・ 稲荷地区にも、昔は屋敷林があった。なくなってしまい、非常にもったいない。自然を残して欲しい。

#### 提案者

- ・ 既存で桜の木がある。それを残して欲しいと要望している。
- ・ 北側の土地がマンションの専用公園になる。そこと一体化できたらいいが、今

は何ともいえない。マンションの組合と話できるといいと思う。

登録員

- ・ 開発の条件に盛り込むのはどうか？

提案者

- ・ それは難しい。既に十分に考えてくれている。
- ・ 出来た時に協力してもらえような状況にしたい。
- ・ マンションの公園を、一体的にポケットパークとして使えたらいい。

登録員

- ・ 瀬崎町のみなさんが前々から熱心にまちづくりに取り組んでいるのを知っていたが、今回改めて話を聞いて感動した。
- ・ 勉強させてもらって自分の地元が良くなるようにしたい。

登録員

- ・ 草加市ではパートナーシップまちづくり事業を推進している。そこに民間開発として話に乗って欲しいともちかけ、行政からも働きかけがあったと思う。
- ・ 業者も最大限配慮した計画を行政に出していると思われる。
- ・ 地域と行政、今回は開発も入っているが、どれだけ三者が話をして自分たちの地域をどうするかと話し合いをすることが重要。知恵や意見を聞いて提案をしていく。
- ・ 将来のリスクは自分たちが負う。最初にリスクを負うのは地域。覚悟はしている。ハード的な提案は大変。地域ではいろんな意見もあるし、権利も絡む。
- ・ こうした提案が出たときに草加市にとって、どういう位置づけになるのか問いたい。その地域ではいいが、市全体ではどうなのか。
- ・ 考え方の一つとして、草加市の目指すべき方向に合致するというのが大前提。この提案は草加市の方針に合致していると思う。
- ・ 地域でも負担をし、管理していく。そうでなければだめ。
- ・ 市の構想やマスタープランに合致している。地域で盛り上がってやっている。これが、草加市が市民に求めていることではないか？

登録員

- ・ 昔の草加市は、一部が宿場町、後は農村地帯だった。水田がどこにでもあって、農業用水が縦横に走っていた。
- ・ 都市化によって、今用水が流れているのは、青柳、柿木、新田地区しかない。他は暗渠化して水面が見られなくなっている。
- ・ 理想としては、水面をそのままにするのが、一番いいと思うが、その狭さでは難しいのではないか。
- ・ 瀬崎にとって、この場所は、かつては生命線であった。春になると苗真水が流れてくる。それを利用して瀬崎中の苗を育てていた。ナエマドと呼ばれていた。

そういう歴史を感じられるところなので、水を残したい。

- ・ カルバートにして、上に水を流して遊べ、大人が憩い、散歩でき、いわれを書いた看板を立てる。そうすればその地区の価値がわかると思う。是非実現したいと思う。

登録員

- ・ 瀬崎住民にとって、ここは道路がない地域で、親水公園と同時に生活道路、生活通路が重要。買い物に行く大人、通学する子どもにとってもいいものになるはず。
- ・ 神戸市にはまちづくり協定があるそうで、ある一定の開発がある時に、市が開発許可を下ろすと同時に地域の了解を取らないと開発が進められないシステムだと聞いている。
- ・ 瀬崎にも大きい開発が入るかもしれないが、地元でその開発を考えられるシステムはすばらしいと感じる。

登録員

- ・ 今度の手続条例ではそれができると思う。

進 行

- ・ 本来であれば、まとめるべきだが、提案としてまとめて、次回の会議で回答する。

登録員

- ・ 市の役割、市民の役割をはっきりさせると、もっと提案も出るし、登録する人も増えると思う。
- ・ 我々が提案するとき、ランニングコストまで出せない。事前に聞くことができると思うが、提案したらコストのせいで、出来ないとなると困る。そういうことにも配慮して欲しい。

#### (4) 会議の運用について

- ・ みんなち会議の進行等について、「登録員で話し合いをする場を設けたい。」との提案があった。
- ・ この「意見交換会」に参加するかどうか、事務局で登録員に確認を行う。

以上

署名登録員

署名登録員